

令和5年7月31日発行

## 法人理念

人が人として人とともに豊かに生きる

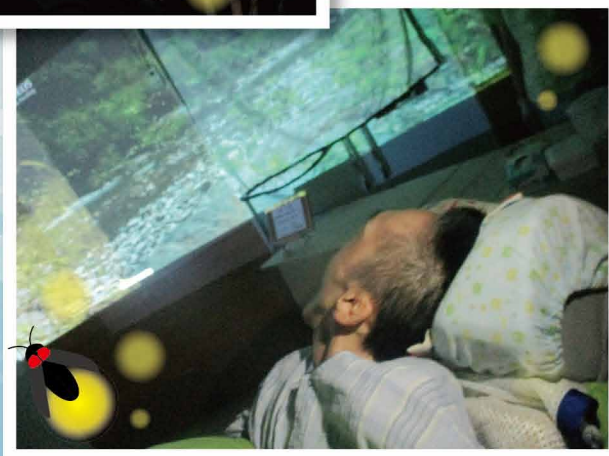
## 基本方針

1. わたくし達は人との出会いを大切にします
2. わたくし達は思いやりと謙虚な気持ちを大切にします
3. わたくし達は個人を尊重し心優しい援助に努めます
4. わたくし達は社会福祉に貢献できるよう資質の向上に努めます
5. わたくし達は地域との信頼を深め開かれた施設運営に努めます



社会福祉法人 甲山福祉センター 西宮すなご医療福祉センター

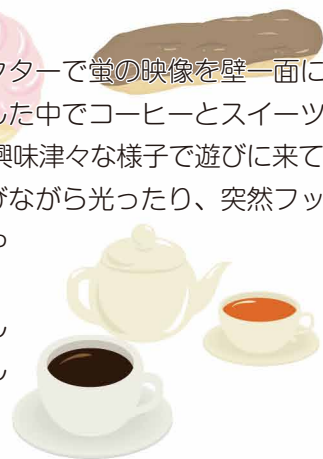
〒663-8131 兵庫県西宮市武庫川町2番9号 TEL:0798(47)4477 FAX:0798(43)1022

HP: <https://www.sunago.or.jp> E-mail: [mail@sunago.or.jp](mailto:mail@sunago.or.jp)

## 3階病棟

谷本 唯

毎月第一日曜日に開催しているブリーズカフェで、6月は蛍の鑑賞会を行いました。フロアの窓や廊下に通じるドアなどを全て暗幕で覆って真っ暗にしたところに、プロジェクターで蛍の映像を壁一面に写しました。さらにスピーカーから川の流れる音や虫の鳴き声を流し、初夏の清流を再現した中でコーヒーとスイーツを楽しんでいただきました。暗くなったフロアの奥には何があるのだろう？と利用者の方は興味津々な様子で遊びに来てくれました。フロアに入った途端、一面に広がる蛍の光に驚かれながらも、ふわふわと飛びながら光ったり、突然フツと消えてはまた光る蛍を見てわぁっと驚いてくれていました。じーっと光を目で追う方や全体を見渡してふわふわ光る様子を楽しむ方、川のせせらぎに耳を澄ませる方など様々で、蛍を見ながら一人ひとりの好みに合わせてカスタムをしたコーヒーとスイーツも楽しみました。普段あまり見ることがない蛍を見て季節を感じる体験ができ、ジメジメした梅雨を涼しく過ごすことができました。



# 令和5年度 保護者会総会報告

## ■入所部門

保護者会 会長 松尾 常德様

### 《令和5年度 保護者会役員》

役 職	病 棟	名 前	今 期
会 長	3階病棟	松 尾	新 任
副 会 長	2階病棟	小 宮	留 任
	4階病棟	大 谷	新 任
会 計	3階病棟	木 田	留 任
書 記	3階病棟	松 尾	留 任
常任幹事	西病棟	横 井	留 任
	2階病棟	西 倉	留 任
	3階病棟	福 田	新 任
	4階病棟	白 旗	留 任
幹 事	西病棟	篠 宮	留 任
	西病棟	宮 下	新 任
	2階病棟	小 林	留 任
	2階病棟	田 中	留 任
	2階病棟	小 宮	留 任
	3階病棟	丸 井	新 任
	4階病棟	秋 山	新 任
会計監査	4階病棟	大 前	新 任
	2階病棟	榎 元	新 任
	4階病棟	九郎明川	新 任

### 《互 助 会 役 員》

委 員 長	3階病棟	松 尾	新 任
副委員長	2階病棟	小 宮	留 任
	4階病棟	大 谷	新 任
委 員	西病棟	横 井	新 任
委 員	2階病棟	西 倉	新 任
委 員	3階病棟	福 田	新 任
委 員	4階病棟	白 旗	新 任
会 計	西病棟	宮 下	新 任
会計監査	2階病棟	榎 本	新 任
	4階病棟	九郎明川	新 任

平素より保護者会活動にご協力頂きありがとうございます。  
 私たち保護者会は、ここで生活する入所者のより充実した生活を送るために様々な活動を惜しまなく展開いたしております。  
 入所者の人生を豊かにするための活動の提供であります。  
 職員の皆様方々へは日常業務に感謝しております。また日頃の入所者の様子を聞き相談する場としての役割を果たしてまいります。  
 私たち保護者会の存在をご認識いただき、今後ともご支援ご指導のほどよろしくお願い致します。

## ■通所つばさ保護者会

通所つばさ保護者会 代表 霧嶋 千奈美様

一昨年より猛威をふるった、新型コロナウイルス感染症も収束に向かう機運となり、各種の制限が順次緩和されていくような状況ではありますが、まだまだ障がい者や高齢者、基礎疾患を有す方は重症化するリスクが高いと言われています。

保護者会活動においても、安全第一の観点から第26回通所つばさ保護者会総会は書面決議が行われ、大半の賛成をもって可決いたしました。

今年度においては2ヶ月に一度の保護者会を開催し、保護者の皆様の関心が高いコロナ禍の生活など、身近な話題を含めさまざまな情報を交換する機会を持てたことは、少しずつこれまでの日常が取り戻してきたようで、通所つばさでの活動も徐々に戻り子供達の笑顔が見られる事が嬉しい限りです。

西宮すなご医療福祉センターのこれまでのコロナ禍のご尽力に感謝申し上げます。  
 今年度の活動へのご支援くださいますようお願い申し上げます。

### ＜令和5年度 通所つばさ保護者会役員＞

- 代 表 小山
- 副 代 表 加藤・岸上
- 書 記 田中裕美子
- 会 計 津村
- 守る会理事 五味
- 会計監査 東・松田





重症児者通所支援室

## つばさ

南條 真弘

## 「外部活動に行ってきました」

今年度の外部活動が6月から始まりました。3年振りに屋内施設への外出もOKとのことで、6/6(火)に先陣を切り尼崎市にあるショッピングモール「つかしん」に行ってきました。

いつもの降所時間よりも早くに自動車に乗り込み出発。利用者2名、職員2名での外出です。まずは、お一人の方のご家族から「ここ台湾カステラを買ってきて!!」とリクエストがあったのでそのお店へ。サービスカウンターに行きお店の名前を伝え場所を尋ねると、「すみません、去年末に閉店したんです」との返答が…。他の店に台湾カステラが売っていないか探しましたが、台湾料理の店はあったもののカステラはおいていませんでした。代わりに無印良品でバームクーヘンなどを買ってお土産にしました。

もう一人の方は職員と相談し洋服を求めてGUへ。これからの季節にピッタリなTシャツを何枚か手に取り思案します。そしてベイマックス柄のTシャツを買いました。よく似合っているでしょ。

お二人とも、到着すぐは緊張した面持ちで表情も硬かったですが、ショッピングモール内を散策すると徐々に声も出て表情も緩んできました。満足な買い物もできて楽しい外出でした。



## 4階病棟



Happy Birthday 松尾 美晶

6月の誕生日活動で、利用者3名と5階のテラスでしゃぼん玉をしました。

しゃぼん玉への反応は三人三様、それぞれ個性がありました。しゃぼん玉が近づくと顔をしかめる方、興味のなさそうな表情をしていたかと思いきや、ふと野鳥の鳴き声に反応する方、しゃぼん玉が近づくと口を開けてパクパクと捕まえようとする方、皆それぞれの楽しみ方で職員としゃぼん玉遊びをして、外気浴も楽しむことができました。

その後スヌーズレン室に入り、スヌーズレンと同時にオルゴールを聴いて楽しみました。暗闇で光るチューブに見惚れている方や、掴んで遊ぼうとする方、穏やかな表情でじっとオルゴールを聴きながらウォーターベッドの揺れを楽しんでいる方もいました。

そして誕生日活動ということで、活動の締めくくりにはケーキを食べてもらいました。それぞれに選んでもらったケーキを美味しく頬張っていました。

これから暑い時季になりますが、利用者の皆さんの体調に配慮しながら、楽しい活動の提供をしていきたいと考えています。





## 2階病棟

川崎 久美子



2階病棟の全体活動〈5月編 風を感じよう だって5月だもん〉

5月28日の日曜日、2階病棟は全体活動で「風を感じよう」という活動を行いました。

それぞれの体調やスケジュールの関係で、3グループに分かれての活動になりました。

第1グループはベランダでシャボン玉を見るグループ。第2グループは中庭で花いちもんめを行なうグループ。そして第3グループは部屋で南部風鈴の音を楽しむグループです。

ベランダ組は、キラキラと光りながら飛んでいくシャボン玉に見とれていました。連続で出てくるおもちゃを使っているの、ゆったりと眺めることができ、そのシャボン玉は中庭まで飛んでいきました。

中庭では花いちもんめを行いました。この遊び、一見牧歌的なのですが、実はだんだんと気持ちが高ぶってくるんですよ。「負けて悔しい花いちもんめ」を歌う時に、わざと大きな声で歌ったりした覚えはありませんか？ そんな感じでとても盛り上がった中庭グループでした。南部風鈴グループは、窓を開けて10個以上の南部風鈴の涼やかな音色を楽しみました。上品な風鈴の音色はとても心地良く、数があってもうるさく感じないのは、さすがの巧みの技なのでしょう。

5月の気持ちいいお天気と爽やかな風を、どのグループも満喫することができました。



## 西病棟

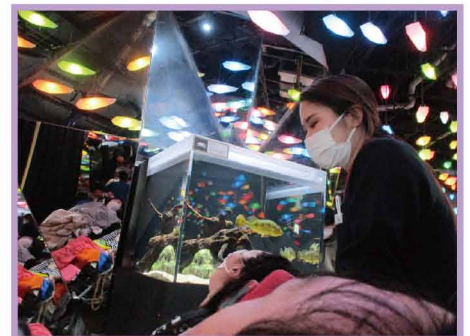
岡村 泰典

5月8日、私たちはドライブを楽しみ、今巷で人気のアクアリウムとアートが融合した新感覚の都市型水族館 atoa に行ってきました。道中は、初めて参加する職員もいたのでみんなで自己紹介を行い、町の中の建物や場所のガイドをしながら過ごしました。

到着後、おしゃれな雰囲気オープンテラスで食事を開始しました。ふと天井を見上げると、天井に水槽があり魚が見えるではありませんか！利用者の皆さんに伝えると大喜びで嬉しそうにしていました。食事が終わると…さあ、出発です！

洞窟に潜り込むような鏡の造作物と、水槽に魚群の演出照明がきらびやかに乱反射し、初めて見る光に目を丸くしていました。深く深く進んでいくと大きな水槽がいくつもあり、個性的な形や特徴を持つ魚たちに出会い、その魚たちと記念写真を1枚。水中世界を抜け出した後は、天井から降り注ぐ木漏れ日を感じながら、川辺に暮らす淡水魚や両生類などを観察しました。また、大きなゾウガメがすぐ近くにいることを伝えると大きな声で喜んでいました。さらに進んでいくと風光明媚な和の世界 MIYABI へ。次々と移り変わる光の演出に、時間を忘れてうっとり眺めておられ、最後は「奇跡の惑星」と題された日本最大級の球体水槽を楽しみました。

様々な光の演出と大きな水槽にビックリしたり喜んだり、刺激たっぷりの楽しい院外活動でした。





## ポップサーカス

生活支援課 宮野 紀子

西宮市の福祉施設利用者に、西宮市初開催となる「ポップサーカス」の主催者から無料ご招待の案内が届きました。

そして応募したところ、なんと!! 22名の方の招待が決まり、サーカスを楽しんで見ることができる利用者に行っていただくことになりました。



4階病棟 谷澤 和歌子

6月19日(月) 4階病棟では、院外活動で「サーカスがまちにやってくる!!」のポップサーカスに行ってきました。久しぶりの車での移動にビックリしたのか緊張したのか、泣き出してしまった方もいたのですが、到着してテントを見ると大はしゃぎされていました。テントの中に入ると、薄暗い場内に少し不安そうでしたが、サーカスが始めると女性の超速着替えの技や、筋肉ムキムキの男性達が登場して、人が人の上に乗ってくるくと回転していて圧巻でした。

空中ブランコも凄かったです。また出演していた動物は、サーカスでのイメージがある猛獣(虎やライオン)ではなく子犬でしたが、これがまた可愛かったです。



最後に大きなバランスボールが場内を飛び、とても楽しい空間でした。

今後も利用者の方々と楽しめる内容を模索し、心に残る院外活動にしたいと思います。



生活支援課 宮野 紀子

重い障害がある方でも、視線検出装置を使い視線をコントロールすることで、ゲームなどを楽しむことができます。この度、高友福祉積善会様から助成をいただき、視線感知装置「アイトラッカー」を購入しました。

3階病棟 山崎 達哉

今年度は、エンジョイ活動(以前はリハ協働活動)にてPCアプリ「アイトラッカー」を取り入れ活動を行っています。「アイトラッカー」とは、ヒトの眼球運動を分析し、視覚的注意などを明らかにする生体計測手法です。アイトラッカーではパソコンに接続したセンサーが視線を感知し、浮いている風船を割ったり、対象物を射たりする射的などのゲームが楽しめます。今回2名の利用者を対象に、5月と6月で2回実施しました。

一人目は「パソコンでアイトラッカーを使ったゲームをやりますか?」と尋ねると、にっこり笑顔でうなずかれ風船割りを行いました。しっかりと視線で風船を追い、割れる様子や音を聞くと嬉しそうな笑顔がみられ、回数を重ねるごとにスコアを更新されゲームを楽しまれていました。

二人目は射的が得意の様で、パソコン画面を興味津々にじっと見つめて視線を合わせ、撃ち落とす様子を見て口角が上がり笑顔で楽しまれていました。昔ながらの射的的のお菓子のパッケージやぬいぐるみなど、懐かしく思えるものが多く、BGMなども縁日の雰囲気を感じさせてくれるゲームでした。

ベッド上にて視覚センサーが適切に反応するように、ポジショニングやパソコン台の設定、車椅子上での高さ調整を行い、一人ひとりの利用者にあった形で遊ぶ場所を選ばず楽しめるので、興味のある方はぜひ活用してみてください。





## トライやるウィークが3年ぶりに再開されました!!

3年ぶりに5日間のトライやるウィーク(体験活動)が実施され、鳴尾中学校の学生2名と学文中学校の学生2名を受け入れました。初めてのことに緊張しながらも、利用者の方との関わりや支援、その他様々な仕事に一生懸命取り組まれていました。



### 鳴尾中学校〈2023年5月22日(月)～5月26日(金)〉

私は西宮すなご医療福祉センターがどのような施設なのか知らなかったけれど、1日目の体験を通して知ることができました。介護現場体験で、見たり聞いたりしながら利用者の方の立場になって考えたりしました。職員の方が利用者の方に声かけをするところを見て、普通の事ではあるけれど、私には難しくすごいなと思いました。2日目の福祉機器体験では利用者の方はこのように感じているのかなど知ることができました。また、発達障害支援室での体験では、自分たちがやりたいことを指さして伝えようとしていて、すごいなと感じました。あと、家政体験では最初は手間取ったけど、最後はスムーズに終わることができました。

私は人と接することが苦手なのですが、このトライやるウィークの体験を活かして、これからはあまり接したことがない人とも接したいと思います。

私が行った西宮すなご医療福祉センターには、障害があり歩いたり話したりすることが難しい方達がありました。私はそこで相手の立場になって、相手の気持ちを考えることの大切さを知りました。私がすなご医療福祉センターで一番多く入らせてもらったのは、朝に家から施設へ来てもらって、夕方に施設から家に帰る「通所」というところでした。通所で働いている職員の方は、障害があっても何かを楽しんでもらいたいとおっしゃっていて、障害者の方のためのジェンガや耳で聞いて楽しんでもらうためのハンドベルなどがあり、たくさんの方が工夫されていました。また、利用者の方が食事をする時はひとつひとつ声かけをして食べてもらう順番まで考えていました。働いていた職員の方達はみんなが利用者の立場になったらと考えて行動されていました。私が将来全然違う職業に就いたとしても、相手の気持ちを考えて行動するという事は、一生忘れないようにしようと思いました。

### 学文中学校〈2023年5月29日(月)～6月1日(木)〉最終日の6月2日(金)は警報が発令されたため中止となりました。

トライやるウィークで、今までにない貴重な体験をたくさんさせていただきました。

食事がゼリー状やミキサー食など工夫されていることや、福祉土器の使い方など知らなかったこともたくさん学ぶことができました。利用されている方々とコミュニケーションを取っていくうちに、人とつながることの温かさ、様々な人の生活を肌で感じる事ができ、とても良い経験になりました。

すなごで体験させていただき、仕事の大変さもやりがいも感じる事ができました。私はたくさんの人に支えられ、様々な人々のつながりの中で生活していることを実感しました。支えてくださっている周りの方々や、受け入れてくださった事業所の方々への感謝を身に染みて感じる事ができたので、感謝の気持ちを忘れず、トライやるウィークでの経験をこれからの道に活かしていきたいです。



このトライやるウィークの期間、たくさんのお話を聞かせてもらいました。ほぼ初めて障害者の方と接しました。文字を書くことや言葉を発することができなくても、できることはたくさんあることが分かりました。動きで伝えたいことを表現していたり、感情を表情で表したりと得意なことたくさんあって、私たちと全然変わらなくてとても愛おしい存在だと思いました。そして、障害は個性だと気付くことができました。

他にも、たくさんのお話を聞いたり学びを肌で感じる事ができました。このトライやるウィークで気付いたこと、感じたこと、学んだことは、これからの人生においてとても貴重な財産となりました。そして、自分の道が少し広がったような気がします。このような体験を実現できるように協力してくださった方や支えてくださった方に感謝をし、経験したことを活かしてこれから歩いていきたいです。

## 砂子訪問学級 令和5年度がスタートしました！

今年度、砂子訪問学級は、児童生徒3名、教員2名でスタートしました。今年度の学級の合言葉は、「ワクワクしよう!!」です。子ども達が、心おどらせるようないろいろなことを体験する中で、自分の持てる力をめいっぱい発揮し、感性を爆発させて、生活をより豊かなものにしていくことを願い、このテーマにしました。子ども達だけでなく、関わる大人もワクワクして臨めるような学習や行事を考え、ともに楽しみながら有意義な1年を送れるようにしたいと思います。



昨年度まで長年にわたり、砂子訪問学級の教育に尽力してきた本多教諭が退職し、今年度は、福西隆弘、宮崎有子の2名でお世話になります。

これからも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 火災を想定した防災訓練を終えて

総務課 徳島 太生

6月26日(月)に火災を想定した総合防災訓練が行われました。今年度は、3階病棟で火災が発生したと想定し、事前に決められた役割の実行と利用者の避難を訓練しました。私はセンターから通報を受けて火災現場に向かう消防隊員役として参加し、病棟職員の動きを確認しました。

施設内の緊急放送から約5分の間で、消火器の調達や避難状況の伝達がスムーズに行われており、日々の現場でのコミュニケーションが活かされている印象を受けました。

もちろん課題もありました。今回の防災訓練は、良かった悪かったそれぞれの動きが体験でき、良い経験になりました。また、普段の心がけ、例えば「コンセントをしっかりと挿す」「タコ足配線をしない」が大切だと思いました。





〓善意、令和5年5月～7月

寄付金

(順不同 敬称略)

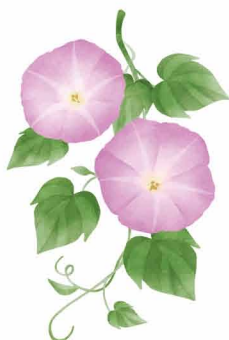
4月 沢田 昇  
6月 山本 春樹



寄贈品(日用品・食品他)

(順不同 敬称略)

6月 藤沢 豊子



職員の異動

令和5年5月～7月

入職

4月24日付 種橋 礼子(相談員)  
5月8日付 青戸 七海(看護師)  
5月15日付 堀岡 愛音(言語聴覚士)  
5月22日付 加原 理紗子(看護師)  
6月1日付 土岐 美由紀(看護師)  
6月26日付 奥田 愛(看護師)  
7月1日付 森本 里佳(医師)  
7月10日付 藤原 萌乃(看護師)  
7月24日付 高野 留衣(看護師)

退職

6月30日付 村岡 玲子(看護師) 定年退職  
7/1よりパート  
岡元 敬濟(看護師)  
岡川 寛(看護師)  
7月18日付 田村 大督(作業療法士)  
7月31日付 岡本 千秋(看護師)  
柿 育子(看護師)

転出

4月24日付 永井 祐美恵(相談員)  
総合相談支援センターへ

利用者様の作品紹介

重症児者通所支援室  
宮城 礼子

重症児者通所支援室には「ばっさちゃん」というキャラクターがいます。

つばさ20周年記念の際に誕生しました。

そのばっさちゃんを、利用者と一緒にトートバッグにステンシルで絵付けをしました。トントン叩くように色をつける方、ぐいぐいと押しつけるように色を重ねる方など作業にも1人ひとりの個性が出ます。とても可愛くできたトートバッグは、スプリングフェスティバルの販売で飛ぶように売れました。売り上げをどんなふうにご利用するかを考えるのもとても楽しみです。これからも素敵な作品作りをしていきたいと思ひます。



編集後記

梅雨が明け、いよいよ夏本番になりました。連日暑い日が続いているので、日傘が欠かせません。熱中症にならないよう、体調の変化に気を付けて暑い夏を楽しんでいきたいですね。



上村裕美

